

# 九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

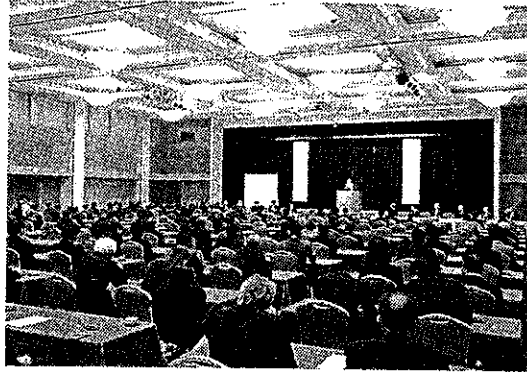
電話 代表092(431)5361 番

FAX 092(431)7613 番

購読料1ヵ月7,020円

北九州支局 Ⅸ093(921)5011  
 長崎支局 Ⅸ095(827)5595  
 熊本支局 Ⅸ096(368)1553  
 大分支局 Ⅸ097(594)0518  
 宮崎支局 Ⅸ0985(24)6688  
 鹿児島支局 Ⅸ099(259)3426  
<http://www.kyuukennippou.co.jp>

## 研究成果発表会を開催 日本建設技術グループ



【佐賀】日本建設技術(株)唐津市北波多、原裕社長グループは11日、平成27年度(第12回)の研究発表会を唐津市の唐津シーサイドホテルで開催し写真した。MBS S工法の改良型やこのほが国のNETIS登録技術となったミラクルソル水質浄化システムの報告について、日本建設技術及びグループ企業の全社員と来賓などの出席者は熱心に耳を傾けていた。

冒頭、原社長は「近年では温暖化等による自然災害が発生しており、建設産業においても環境負荷の低減に配慮した施工技術の活用を考える必要がある。このような状況の中で、ガラス廃材をリサイクルしたミラクルソルは、軽量盛土や水質浄化、植生基材など多様な分野での活用が期待されている。今後も時代のニーズにあった新たな技術の開発に挑み続けて、持続可能な会社づくりを邁進していく」とあいさつした。

成果発表では、企画開発戦略本部技術研究所の松尾保成副所長が、このほが国のNETIS登録技術となったミラクルソル水質浄化システムについて、登録に至るまでの

技術開発等の経緯を説明するとともに「技術的課題を見つけたし、探究と具体化を継続することが大切だ」と報告した。

また、原社長は、「2014年度のあゆみとMBS S工法(ミラクルボードソイルストップ工法)の改良型」と題して、平成26年度の活動を報告。MBS S工法は、岩盤斜面など地下水の確保が困難な状況において、保水材としてミラクルソルを使用したストックパー材を設置することで、植生基材のはく離やすべりを防止することも植物への水分供給源となる工法。更なる植物の活着を促すためにボードに穴あきとかきをつけた改良型の開発に取り組んだことなどを報告した。

成果発表の後に、佐賀大学低平地沿岸海域研究センターの荒木宏之教授は「発表会が回を重ねるごとに充実していると感じている。信頼や技術を支えているのは継続的な研究活動や技術開発だと改めて思った」と講評した。